

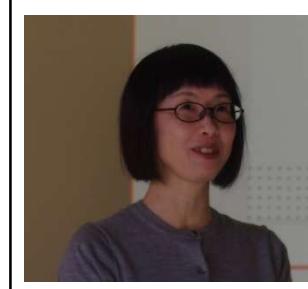
建設部会活動 報告書

中国本部建設部会

事業 名称	公益社団法人日本技術士会 中国本部 建設部会 2025 年度 現地見学会 「関係人口」で読み解く島根の地域再生視察会～第一人者と巡る関係人口創出の最前線～		
時期	2025 年 11 月 22 日（土） 8:30～19:30		
実施 場所	【メイン】理論と実践を学ぶ特別視察・講演会：美又共存同榮ハウス（島根県浜田市金城町） 【視察①】今福線のコンクリートアーチ橋群（島根県浜田市下府町、上府町 他） 【視察②】江の川鐵道 宇都井駅（島根県邑智郡邑南町）		
参加 人数	見学参加者 18 名 Web 個人視聴 3 名	CPD	4 時間
事業 内容 と 感 想	<p>1. 目的 「関係人口」研究の第一人者である島根県立大学・田中輝美准教授が、自らその理論を実践する拠点として運営に携わる「美又共存同榮ハウス」を訪問した。『関係人口の社会学』の著者本人から、理論が生まれた背景と実践について直接解説を聞き、施設視察および意見交換を実施した。さらに、島根県技術士会が長年取り組んできた、関係人口の関与により新たな価値が生まれた「江の川鐵道（選奨土木遺産 宇都井駅）」や、人々を惹きつけるストーリーを持つ「選奨土木遺産 今福線のコンクリートアーチ橋群」も訪れ、多角的に学びを深めた。</p> <p>2. 実施内容</p> <p>【視察①】今福線のコンクリートアーチ橋群（10:30～11:30） 島根県技術士会 和田技術士より、今福線の概要説明を受けた。昭和の時代に 2 度着工したものの、戦争等の理由により未成線となった「幻の鉄道遺産」である。4 連アーチ橋、今福第四・第五トンネル、5 連アーチ橋、橋脚群を巡った。</p>    <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">  <p>島根県技術士会 和田技術士</p> </div> <p style="text-align: center;">現地での見学状況</p>		

【メイン】理論と実践を学ぶ特別視察・講演会（13:00～15:00）

美又共存同榮ハウスにて、田中輝美准教授による講演、および学生による施設案内と関係人口創出の具体的な取り組み解説が行われ、その後に意見交換会を実施した。



島根県立大学
准教授
田中 輝美 氏

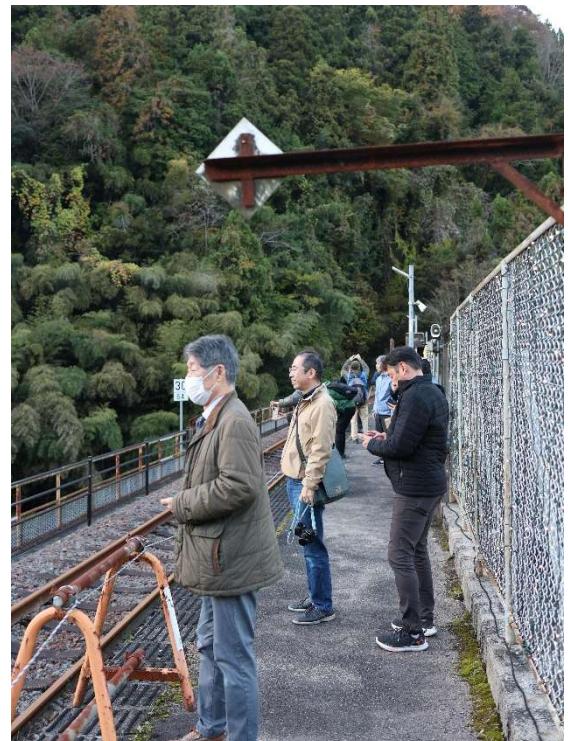
施設案内・講演会の様子



美又ハウスでの集合写真

【視察②】江の川鐵道 宇都井駅 (16:00~17:00)

「天空の駅」と呼ばれ、地上約20mと高さ日本一を誇る宇都井駅などが鉄道遺構として残っている。この宇都井駅では、トロッコ型車両の運行に關係人口が関わることで新たな価値が生まれている。宇都井高架橋は、特殊なジョイントを有するRC壁式多径間連続ラーメン高架橋であり、50年前の技術に見学者は感銘を受けた。また、同施設が令和7年度の選奨土木遺産に認定されたことを受け、当日開催された認定書授与式に見学者も参加した。



現地での見学状況

3. アンケート回答結果 (回答数: 14件)

- ・所属部門の区分: 建設コンサルタンツが71.4%と大半を占め、次いで建設会社(14.3%)、官公庁・団体等(7.1%)となった。
- ・視察・講演の満足度: 今福線、江の川鐵道の視察、および講演内容のいずれも高い満足度を得た。
- ・主な感想:
 - ・「現役を終えた社会インフラが地域資産として活躍する姿に、技術と伝承の重要性を感じた」
 - ・「学生の地域に対する強い思いが伝わる良い講演会だった」
 - ・「關係人口の基本や事例を通じ、人と人とのつながりの大切さを再認識した」

4. 評価と今後の課題

評価: 参加者の9割以上が「満足」と回答しており、非常に有意義な開催であったと考えられる。

課題:

- ・行程: 移動時間が長く、内容が詰め込み過ぎとの意見や、バスの座席の狭さへの指摘があった。
- ・Web配信: 説明者の声や会場の声を拾うためのマイク併用など、音声環境の改善が必要である。
- ・広報: 「内容は良いが参加者が少なかった」との意見もあり、開催日や広報手法の検討が求められる